

みちのく

発行 一般社団法人 青森県法人会連合会
 〒030-0823 青森市橋本二丁目13番5号
 電話 017 (775) 2580番
 F A X 017 (773) 5644番
 URL <http://www.aomori-hojinkai.or.jp/>
 年4回発行(4.7.11.1月) 創刊 昭和51年4月1日

191号
 令和5年11月1日

法人会の理念
 法人会は税のオピニオンリーダーとして
 企業の発展を支援し
 地域の振興に寄与し
 国と社会の繁栄に貢献する
 経営者の団体である

第39回法人会全国大会「群馬大会」



令和5年10月18日(水)、高崎市の「高崎芸術劇場」において、全国の法人会が参加し開催された。青森県連からは13名が参加した。
 大会に先立ちウエルカムコンサートが開かれ、群馬交響楽団のアンサンブル編成による演奏が披露された。
 大会の第一部は、日本通信株式会社代表取締役社長で前橋工科大学の理事長福田尚久氏により、「好機到来」と題して記念講演が行われた。
 第二部は記念式典が行われ、群馬県連 齋藤一雄会長による開会挨拶、全法連 小林栄三会長による主催者挨拶、国税庁 住

澤 整長官、その他来賓より祝辞が述べられた。

続いて、各種表彰制度表彰会の紹介・代表県連への表彰状授与、令和6年度の税制改正提言の報告が行われた。税制改正提言では、「税・財政改革のあり方」として、財政健全化、社会保障制度、行政改革、マイナンバー制度などについての考え方、「経済活性化と中小企業対策」として、中小企業活性化に資する税制措置、事業承継税制の拡充、消費税への対応、このほか「地方のあり方」「震災復興等」などについての提言が報告された。
 第三部はホテルメトロポリタン高崎に会場を移し懇親会が開催された。



大会宣言

われわれ法人会は、「税のオピニオンリーダーたる経営者の団体」として、「税制改正に関する提言」や租税教育、企業の税務コンプライアンス向上に資する「自主点検チェックシート」の普及など、税を中心とする活動を積極的に展開しながら、広く社会へ貢献している。

わが国の社会経済活動に大打撃を与えたコロナ禍は、ほぼ収束し、急激な物価上昇も一時に比べ、落ち着きを取り戻しつつある。

こうした中、政府が打ち出した少子化対策や防衛力の抜本強化については、財源の具体的な内容が定まっておらず、安定性を欠いていると言わざるを得ない。加えて、コロナ禍でさらに積み上がった国債残高は先進国でも突出しており、返済計画の策定が重要な課題である。

歳出だけを先行させ財源論が置き去りになったままでは、財政規律の毀損

が決定的となりかねない。まずは、2025年度の基礎的財政収支の黒字化目標を確実に達成し、その後の財政健全化についても並行して議論を開始すべきである。

また、今月から導入されたインボイス制度は、事業者の事務負担増や適格請求書発行事業者と免税事業者との取引に変化が生じると言った懸念がある。政府は、国民や事業者への影響を検証し、問題があれば制度の是非を含めて見直す必要がある。

地域経済や雇用の担い手である中小企業には、コロナ禍による打撃から回復していないケースも少なくない。実効性ある税財政上の支援が必要であり、法人会は、「中小企業の活性化に資する税制」、「事業承継税制の抜本的改革」等を中心とする「税制改正に関する提言」の実現を強く求めるものである。

創設以来、納税意識の向上に努めてきた法人会は、全国の会員企業の総意として、以上宣言する。

厚生委員会

9月7日(木)、青森市のアップルパレス青森において今年度第1回目の県厚生委員会を開催した。今年度より厚生委員長に就任した阿部吉平委員長の挨拶の後、全法連令和5年度第1回厚生委員会報告、県内における福利厚生制度推進状況について事務局より説明した。

令和4年度の当県連の概況は、福利厚生制度創設50周



年キャンペーンは94.0%と惜しくも目標に届かなかったが、全法連恒常表彰の県連表彰では年間累積保険料収入(AIG損保取扱分)と高成績長期間維持の2部門、単位会表彰では弘前法人会が目標を達成した。

続いて、福利厚生制度3社から令和5年度の各社の取り組み方針および進捗状況について報告があった。

全法連では、令和5・6年度でChallenger100キャンペーンを展開しており、新規企業数2万社、新契約件数10万件を目標とし、その推進のために当県連においては、福利厚生制度推進補助を活用した県内全単位会統一の「紹介キャンペーン」を実施している。併せて、福利厚生制度加入と法人会への入会勧奨を同時推進している。

組織委員会

9月21日(木)、ホテル青森において今年度第2回目の県組織委員会を開催した。

石橋信雄委員長の挨拶の後、全法連令和5年度第1回組織委員会の報告では、全国の会員数の現状や会員増強支援策、会員増強事例、全法連で行っている、既存会員の活性化と退会防止について検討するための「法人会活性化推進プロジェクト」の中間報告などを説明した。

続いて県内の会員数の状況、各単位会における会員拡大活動の意見交換が行われた。4月の組織委員会会で決定した「県連全体で純増

1社以上」という目標に対しては大きく隔たりがあるが、役員や保険会社からの入会紹介も増えてきており、他の会の事例を参考として1社でも多く会員を増やすために各会とも活動を強化することとした。



青年部会連絡協議会

報告会開催



7月5日(水)、ホテル青森において令和5年度報告会を開催した。

青森税務署署長ほか幹部、福利厚生制度協力会社3社、県内青年部会員合せて38名が出席した。

報告会に先立ち、日本銀行青森支店の武藤一郎支店長が「世界経済と青

県連会長杯ゴルフコンペ開催

9月4日(月)、青森カントリー倶楽部において、県連会長杯争奪ゴルフコンペを開催した。

県内から42名が参加し、青森の下で交流を図りながら、団体戦と個人戦で熱戦を繰り広げた結果、団体戦は八戸チーム、個人戦は増山真弥氏(八戸)がそれぞれ優勝した。

- 【団体戦】
 - 優勝 八戸チーム
 - 準優勝 青森チーム
- 3位 上十三チーム
- 4位 むつチーム
- 【個人戦】
 - 優勝 増山 真弥 (八戸)
 - 準優勝 小泉 輝美 (八戸)
 - 第3位 工藤亜也子 (青森)



日本銀行青森支店長

森県経済」と題して講演を行った。

報告会では、令和4年度の事業報告と収支決算、令和5年度事業計画と収支予算、任期満了に伴う役員改選について報告を行った。

役員改選では、令和5年度・6年度の会長に、青森法人会青年部会長の佐藤一尚氏(株東尚 代表取締役)が就任した。

税務署等の人事異動

今年7月の人事異動により以下のとおり就任した(敬称略)

- 【仙台国税局】
 - 局長 清水 雄策 (カジノ管理委員会事務局総務企画部長)
 - 課税二部長 船木 英人(金沢局調査課部長)
 - 課税一部次長 上原 貢(東京局成田署長)
- 【青森税務署】
 - 署長 最上 治(郡山署長)
 - 副署長 大澤 明央(局調査統括調査官)
- 【弘前税務署】
 - 署長 小沼 守(札幌局八雲署長)
- 【八戸税務署】
 - 署長 盛田 浩明(局課税二部酒税課長)
 - 副署長 菊地 慶昭(局総務部納税支援調整)
- 【黒石税務署】
 - 署長 村尾 正樹(局課税一部統括調査官)
- 【五所川原税務署】
 - 署長 沼山 直樹(東京局査察部特別徴収官)
- 【十和田税務署】
 - 署長 佐藤 靖志(東京局査察部統括調査)
- 【むつ税務署】
 - 署長 和田 光靖(局調査部統括査察官)

◆ 県税務課からのお知らせ ◆

「あおりふるさと寄附金」のご案内

県では、ふるさと納税制度による寄附「あおりふるさと寄附金」を受け付けています。

ふるさと納税制度とは

生まれ育った地域や、関わりが深い地域を応援したいというみなさんの思いにお応えするもので、個人が県や市町村に寄附をした場合に、住民税から寄附金額に応じて一定額を控除するものです。

法人が寄附した場合は、その支払った全額が損金（経費）に算入されます。

寄附金の活用

いただいた寄附金は、「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」における戦略プロジェクトや東日本大震災からの復旧・復興対策、「青の煌（きら）めきあおり国スポ（第80回国民スポーツ大会）・障スポ（第25回全国障害者スポーツ大会）」の応援に活用します。

県産品の送付

13,000円以上のご寄附をいただいた県外在住の個人の方には、青森県産品をお送りしています。また、この度青森県産ホタテを使った県産品を新たにラインナップしました。

寄附のお申し出は県庁ホームページからのほか、各地域県民局県税部や県外事務所などに備え付けの申出書をご利用ください。個人が寄附する場合にはふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」及び「さとふる」からもお申し出いただけます。

○詳しくは、県庁ホームページをご覧ください。県税務課にお問い合わせください。

・県庁ホームページ ふるさと青森応援サイト

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/soumu/zeimu/025_01furusatoinde.html

・県税務課 TEL 017-734-9064 FAX 017-734-8008

メールアドレス furusatokifukin@pref.aomori.lg.jp



あおりふるさと寄附金 PRキャラクター



みいちゃん



ムッチちゃん



ハコくん



法人会の経営者大型総合保障制度
**広げよう
 企業保障の
 大きな傘を**

法人会の「経営者大型総合保障制度」は

1971年に創設されました。

想いをつないで50年。

これからも会員のみなさまと共に歩み、

企業保障の大きな傘で

会員のみなさまをお守りしてまいります。

DAIDO 大同生命保険株式会社

きた東北支社 /
 青森市奥野 1-11-10
 TEL 017-735-7030

AIG AIG損害保険株式会社

青森支店/
 青森県青森市本町1-2-15(青森本町第一生命ビルディング)
 TEL 017-777-3531